



ぼらんていあ通信

1月号
通巻 No.458

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2020年 1月 21日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: <http://sagamiva.info/>



会長 高橋 功

明けましておめでとうございます。皆様には素晴らしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は台風15号、19号や大雨などで日本国中大きな被害を受けました。さらに相模原市緑区も大災害に見舞われました。ただ、新天皇の即位、スポーツではアスの大坂なおみ、ゴルフの渋野日向子やフクビのベスト8など明るいニュースもありました。

令和2年は東京オリンピックの年でもあり、正月の大学箱根駅伝の青山学院の優勝は相模原にとって最高の喜びで今年は春から縁起が良さそうです。

相模原ボランティア協会は、1981年（昭和56年）に創立されました。創立当初の当協会の目標は、『障がいのある人も共にボランティアとして参加し、市民の手によって地域福祉向上を目指す』、そして私たちの思いは『助け合う心、やさしい心、ありがとうの心、つながる心』の言葉に込められています。

今年の干支は庚子（かのえね）です。原点に返り、始めるという意味があるようです。協会も創立当初の目標や思いを持って新たな気持ちで前進していきたいと思えます。

「2019年度の事業」を振り返ると、総合企画委員会では地区ボランティアグループとのネットワークについて検討しました。先ず傾聴ボランティアグループに現状の活動内容や将来の協働の可能性などについてアンケートをお願いしました。

ハンディキャップ事業は運転手の定年制の導入やそれによる運転ボランティアの不足などにより稼働率が大幅に減少しています。

講座事業は7月のコース別講座に傾聴コースを導入し多数の入会者を得、すでに傾聴活動に入ってもらっています。

広報活動については順調で、その中でばら通発送作業として若者の就労支援や、わくわくの製本作業に放課後ティサービス、ジャンボジャンボから派遣して頂いています。

10月12日開催予定だった「ほかほかふれあいフェスタ2019」は台風19号が関東地区を直撃したために中止となりました。今回は広場部会ではポッチャなど、ホール部会では手話ダンスなどの新しい企画をしていただに残念な結果となりました。反省点は中止の決断が遅かったことです。

2019年度の残りの事業として、1月18日（土）にHC活動者の交流会を開催します。2月15日（土）にはボウリング大会を相模原パークレーンで開催しますが、障がい者団体やボランティアの参加が期待されます。3月19日（金）に「コミュニケーション」で脱高齢者／生きがい講座を「高齢社会を生き抜くためのあなたの選択」というテーマで開

催します。講師は田園調布学園名誉教授の小野敏明先生です。この講座では生きがいを持って暮らしていくためには我々は何をすべきかを問うもので多数の参加を期待します。

「2020年度の事業」については、先ずネットワーク事業について地域ボランティア団体との連携の可能性についてさらに検討していきます。

次にHC事業については運転ボランティアを増やし利用者のご期待に沿えるよう頑張っていきます。

講座や広報について、相模原市のボランティア人口は高齢化し減少していると言われていますが、協会は市社協と協力して相模原市のボランティア人口の底上げを図る必要があると考えます。夏の講座は従来通り実行委員会形式で開催しますが、市民への啓蒙活動として単発の講座を各所で開催する必要があるのではと考え講座委員会でも検討していきたいと思っています。広報も社会貢献活動の必要性についてPRして、市民の皆さんが少しでも貢献活動に踏み出せるように活動していきたいと考えています。

この様なボランティア協会の事業を維持するためには事務局の力が重要です。事務局体制の改善はまだまだの状況ですが皆さんの知恵を借りながらワンチームとなって乗り切っていくほかないと思っています。

最後になりますが、本年が協会皆様にとり良き年になるよう祈念しまして新年のご挨拶いたします。

おめでとうございませー!

切手グループの長年の活動に
対して昨年の第50回相模原市

社会福祉大会で特別表彰が授与されました。この
日の表彰式は災害後ということで中止となりました
だが代表の白濱さんにお話を伺いました。

「ボランティア協会の活動の一環として昭和61
年に始めてから丸33年となりました。この活動は
新聞で知り、当初は12〜13人の会員で活動して
いましたが現在は5人で、部屋の都合もあります
が毎週金曜の午前にあじさい会館の団体コーナー
で作業をしています。事務局に集まった使用済み
切手の汚れたものは省き、切手の大き過ぎる周囲
を一枚一枚ミリからセンチほど残して切り取る
などの整理をしております。整理をした切手は
換金するのに苦労しましたが今では市内の切手愛
好会の方にお願ひしております。この切手は
お話を伺う間も集まった切手の周囲を丁寧に切り
取る作業は黙々と進んでいました。

ぼらんていあ通信は毎号会員と会員外の方に合
計250通余りを長4の茶封筒に84円切手を貼

り発送しています

がその恩恵に一番

与っているのがぼ

らんていあ通信な

のです。感謝の念を

込めてお祝いを申

し上げます。

(小林)



真ん中が白濱さん



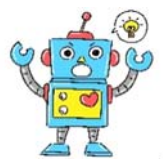
Twitter

ぼらんていあ通信版

ツイッターコーナー

私とボランティアの出会い

濱村 嘉允(年齢77歳)



平成14年3月で川崎市役所を定年退職し、嘱託で7年間勤
務のあと、さて何をするかと考えていた時に、ホームペー
ジで、相模原おもちゃドクターの会が初心者講座の募集をして
おりどんな内容かを興味半分で受講し、入会の誘いを受けて
入会した後で、妻がボランティア講座を受講したので一緒
に行ってほしいと言われ受講しました。講座終了時に、何に
所属するかを決めてくださいと言われ、自分にできるものは
車の運転しか出来ないことから福祉車両運転・介助を希望し
今年で10年になります。この10年間は様々な歩行困難な方を
お乗せしました。ある時は、お迎えが遅い、お迎えに行っ
たら相手が時間を間違えて自分でタクシーを頼んで行かれた
り、自分の意に沿わないと怒られたり、など様々なことがあ
りました。でも多くの方から感謝され、今でもいろいろな方
にお会いでき、同じ方を何回かお迎えに行くと、打ち解けて
話しかけてくれる方もあり、ボランティアをしてよかったと
思います。これからも体と認知機能が衰えない限り、活動し
ていきたいと思っています。

先に入会したおもちゃドクターの会は、実を言うと機械い
じりが子供のころから好きで時計を壊したり、自転車修理
したり、実家が農家なので、農機具をいじったことか
ら、おもちゃの修理はできるだろうと、知識も技術もない私
が、専門技術で電気に詳しい人などの援助を受けながら、子
供たちとのふれあいを楽しみに毎月5日間はおもちゃの修理
をしています。
今までのボランティア活動は、自分の生活を中心にするの
範囲で、無理をしないようにしています。

2月の記念日は?

小倉義男

2月10日、ふきのとうの日です。
「ふ(2)きのとう(10)」の語呂合わせか
ら、宮城県古川市の特産品を販売する
「ふるさとプラザ」が1993年に提唱。
この時期にふきのとうを
見つけると、春が来たん
だなあと思えますね。
自然は不思議ですね。小倉画



クイズに挑戦



お正月も終わってしまいましたね。でもク
イズで、またお正月を楽しんでください。

①現在、お年玉と言ってポチ袋にお金を入
れて子供に配ったりしていますが、昔はお
金ではなく何を渡していたのでしょうか?

ア 餅 イ 薬草 ウ 飴

②お正月に食べるおせち料理。なぜ重箱に詰
められるようになったのでしょうか?

ア 歳を重ねるといふ意味から

イ めでたさを重ねるといふ意味から

ウ こころを重ねるといふ意味から

③1月7日は○○○の日。新年になって初め
て○○を切る日ということが由来になってい
ます。○○に入る言葉はなんですか?

ア 爪切り イ 髪切り ウ 指切り

ほかふれフェスタ参加団体訪問記

障害福祉サービス はやぶさ



お正月気分もまだ抜けきらない1月10日(金)南区古淵にある障害福祉サービスの事業所「はやぶさ」におじゃました。ここはビル3階。午前の始業間もない時間だったので皆さん忙しそうに作業を始めていた。さっそく管理者の流合けい子さんから作業の様子を見せていただく。作業部屋は3つに分かれていて、1つ目は不要になって集められてきたCDやDVDを、プラスチックケースと本体のディスクとラベルの3種類に解体して分別している。CDとDVDも別々に分ける。ラベルも紙だけで出来ている物と他の素材(ビニール、金箔など)が含まれている物にも分ける。プラスチックケースはボールペンに再生利用されているように、現物のボールペンを見せてもらった。とてもシンプルで使いやすいようだ。

次に案内してもらった部屋ではさっきの部屋で分別されたプラスチックケースの検品。シールなどがついていけばそれも分ける。CDとDVDも別々に束ねられる。手慣れた作業の様子は利用者さんも職員さんと同じ。手際よく行われている。



事業所内の様子。中央が流合けい子さん。



CDなどのプラスチックケースを再利用して作られたボールペン。

3つ目の部屋はポップコーンの製造と包装。福岡県にあるシリーズポップコーンという会社の加盟店になっていて、なんと18種類もの味が楽しめる。中でもいちばんの人気はチョコリット味なのだそう。このポップコーンは市内や都内など各地で開かれるイベントに参加、販売している。もちろん、ほかふれフェスタにも秋冬参加しているが、今年度の秋のほかふれは台風のため開催されなかった。イベントへの参加は準備も大変だが、半分は自分たちも楽しめることが良いのだそう。

事業所の概要…

○平成14年9月設立。平成30年10月1日にシルクルールから「はやぶさ」に名称変更。これは施設の種類が就労支援B型に変わったことによるもの(雇用契約を結びA型と雇用契約を結ばないB型の2つがある)。

○ポップコーン事業、繊維製品生産の軽作業、清掃業、CD・DVD製品の仕分。

○利用人数20名。身体障がい、精神障がい、聴覚障がい、視覚障がい、知的障がい、難病指定の方がいます。

当施設のモットーは「障がいは身近なものだからこそ、人にやさしい職場づくり」です。お互いに助け合いながら作業を進めています。バス、電車を利用して通所しています。月々金曜日、9時45分〜午後2時45分。職員5人。



部屋の隅には、仕分けを待っているCDやDVDが入ったコンテナがうすたかく積まれて。



壁には仕分け方法の詳細な説明が。



個人間の相性もあり、スケジュール管理もなかなか大変ですが、皆さんの人柄でどうぞ乗り切ってください。お忙しい中、どうもありがとうございます。(恒藤・植野)

ほかふれフェスタで好評だったポップコーン!



障害福祉サービス はやぶさ
管理者 流合けい子
〒229-0004
相模原市南区古淵6-1-1
☎042-767-5455

クイズの答え

①は、アの餅。

昔は、お金ではなく小さな丸い餅を沢山作り子供たちや親戚などに配っていました。それが江戸時代になって商人が奉公人の子供に餅の代わりにお金をあげるようになり、それが広まり現在にも風習が残っているそうです。

②は、①のめでたさを重ねるという意味から。

重箱には「めでたさが重なる」「福を重ねる」という意味があり、重箱に詰めるようになったと言われています。

③は、アの爪切り。

1月7日に爪を切ることによって邪気を払うことができ、その年は風邪を引かないようになると考えられていたそうです。



相模原ボランティア協会 2月の予定

日	時 間	内 容
8(土)	10:00～	定例理事会
	13:30～	総合企画委員会
11(火)	16:00～	幸せの黄色いレシートキャンペーン参加
12(水)	13:00～	広報委員会ぼら通部会
15(土)	9:00～	新春ボウリング大会
	13:00～	事務局委員会
17(月)	13:00～	ぼら通2月号印刷
18(火)	13:00～	ぼら通2月号発行
22(土)	10:00～	ハンディキャップ委員会



お知らせ

1月の理事会は1月25日(土)のため、今月の『理事会報告』は、お休みとなります。

委員会だより

事務局委員会

委員長 小野 明雄

当協会の委員会設置規則では各委員会の委員は「自由意志に基づき登録」ですが、事務局委員会は「事務局運営規程」による「こと」になっています。

事務局員は同時に事務局委員会のメンバーになり、事務局サポーターと管理理事が加わり、10名で委員会を構成しています。

毎月の定例委員会は事務局業務の打合せが中心になり、ボラ協の動きに合わせて、事務局としての対応を検討します。

そのためには理事会、他の委員会からの具体的な情報や指示、連絡、報告が大切です。

事務局業務は基本的には交代勤務ですので、事務局業務のすべてにおいて共通理解をして、交代でも間違いなく業務をこなせるよう「理解と打合せ」に時間が必要です。

協会の活動の窓口になっている事務局ですので、いろいろな人との接触があり、またいろいろな情報も入ってきます。これらの事態の全てに事務局で対応できるのが理想ですが、なかなか難しく、理事の皆様や各委員に対応をお願いしているのが現状です。

現在事務局ではその一翼を担っていただける方を募集しています。
事務局の活動にご協力をお願いします。



ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切にに使わせていただきます。

<12月の寄付者>

9名の皆様からご寄付をいただきました。

<12月の寄付金>

総額 51,340円でした。

ボランティア協会 事務局員 募集

協会の窓口ボランティアとして活動してみませんか？

活動場所：協会事務局

あじさい会館2階中央ボランティアセンター内

活動内容：週1～2日、1日5時間程度

電話受付、ボランティア調整、簡単なパソコン作業

※些少ですが活動費補助制度があります。

連絡先：協会事務局 042-759-7982



【イベント情報】

今年も障がいのある人及びその家族を対象とした「新春ボウリング大会」が開催されます。2月15(土)9時(受付8時10分～)から、会場はJR相模原駅に近い相模原パークレーンズです。

詳細は相模原ボランティア協会 ☎042-759-7982まで。



ボウリング大会ではボランティアも募集しています。
詳細は6頁をご覧ください。



会員のひろは

様々なボランティア活動をなさ
っている会員の皆さまに、その活動
の紹介や経験したことなどを語っ
ていただくコーナーです。

ボランティア協会との出会い

杉本 まゆみ



ハンディキャブの運転手をしていた夫に誘われ
介助ボランティアを始め、その後事務局にと声
を掛けて頂き、早いもので6年近くになります。

私のボランティア協会との出会いは、30数年前
に末娘の入園で時間的ゆとりが出来たこともあ
りボランティア養成講座を受講して点訳を学ん
だ事です。今でも協会で活動しておられる杉崎さ
んや三十尾さん達にご指導頂いた記憶がありま
す。点訳独特の規則があり随分苦労しましたが、
ライトセンターへやつの思いで点訳本を2冊
寄贈した時に、読者からお礼の葉書を頂き、感無
量だったのを覚えています。その後、夫の転勤で
点訳からは離れてしまいました。長年活動を継続
されている方々には敬服致します。

事務局の主な業務はハンディキャブの運行調
整ですが、その他さまざまな処理事項が多く緊張
の連続で、6年経つても庶務の方々に助けて頂い
ている状況です。私自身、両親の介護経験は無く
親族も遠方です。そのため世間との関わり方も薄
くなりがちなところ、会員の皆さんやハンディキ
ャブ利用者さんを通して学ばせて頂いていると
考えています。運転ボランティアさんには早朝の

運行や長時間の待機をお願いしても快く引き受
けて下さり頭が下がる思いです。また、利用者さ
んとの接し方(電話等)ですが、いろんな方がお
られるので極力寄り添った対応を心がけていま
す。今一番の悩みは運転ボランティアが決まらず
利用者さんにお断りをする事です。どなたかご
協力頂けないでしょうか？

私の趣味は2つあります。50の手習いで始め
たオカリナと60の手習いで始めた囲碁です。オ
カリナは中々上達しませんが8名の仲間と和気
あいあいと練習をして、近年は高齢者施設への訪
問が楽しみとなっています。唱歌、民謡、演歌
ナツメロ等、季節に合わせて皆さんになじみ深い曲
を選び歌集を用意しています。オカリナ演奏に合
わせて大きな声で歌ったり踊ったりして頂き、1
時間があつという間に過ぎます。多い時はホール
に50名くらい集まってくれます。昨年末の訪問
時には「きよしこの夜」を数名の方が英語で歌わ
れびつくりしました。「ありがとう」「きれいな音
色ね」「また来てね」と言ってく下さるのを聞くこ
嬉しくて大変励みになります。今後も「共に楽し
む」をモットーに活動して行きたいと思っていま
す。またメンバーも高齢化してきており健康に気
を付けて長く続けることが目標です。囲碁は父か
ら形見で譲り受けた碁盤を使っています。奥が深
くある程度対戦できる方になるまでに数年か
かりました。認知症予防に効果ありかな？

「今年も皆さんについて良い年
でありますように」



宣告

坂本隆夫



崩れかけた 道路を前に
私は 今 たじろいでいる
今までの 経験では 何も 役に立たない

病も同じだ

躁鬱病という おかしな病に
冒されて 死をも 宣告される

勝つか 負けるかの 闘いだ

闘う 気力が ごくわずか 残っている
眠ることで 勇気が 湧いてくる 勝利！

人生！ 山あり 谷あり

二十数年の 闘病に
ずつずつしくも 生き抜いて やるしかない

*障がい者の方が書かれた詩です。

「わくわく 2019冬号」に掲載

広報委員会の新年会開催報告

今年もほらんていあ通信を無事に皆さまにお届け
するために、広報委員会では1月過日、新年会を開催
して英気を養いました。石関理事や、ほらんていあ通
信の発行を手伝っていただいている吉田会員と小山
会員にも参加いただき、各地の雑談談義や、近況報告
などの話で盛り上がり、あつあつ
間の2時間でした。

今年もほらんていあ通信をよろしく
お願いいたします。(広報委員一回)





ボランティアさん募集！

～ 余暇支援のお手伝い ～

内 容 あじさい青年学級（知的障がい者の余暇グループ）のお手伝い
月によって内容は異なります
日 時 月1回 第2日曜日 8:30～15:00
場 所 あじさい会館他
持ち物 活動内容によって変わります
昼食（お弁当）あり



*連絡・問い合わせ先
相模原ボランティア協会あじさい連絡所
電話 042(759)7982
相模原市社協 中央ボランティアセンター
電話 042(786)6181

ボウリング大会



新春ボウリング大会のお手伝い募集

毎年恒例の障がいをお持ちの方とのボウリング大会です。

日時：令和2年2月15日(土)8:00～11:30

場所：相模原パークレーンズ

(中央区相模原2-7-4)



使用済み切手・未使用切手 書損はがきを集めています

切手グループでは使用済み切手等を集めています。貴重なボランティア活動の財源になりますので、ぜひご協力を！！

相模原ボランティア協会 気付 切手グループ

*使用済み切手整理の

ボランティアも募集中！



*連絡・問い合わせは

相模原ボランティア協会 あじさい連絡所

電話 042(759)7982

昨年、香港在住の中国人の若い女性から何年ぶりにメールが届いた。香港デモの真っ最中だったので、びっくりしたが、彼女は「今、香港に戻って英語の先生をしているの！英語のことで質問があったらいつでも連絡してね」と、デモのことには何も触れず、自分の近況などが書いてあった。

昨年、災害や貿易戦争、森林火災や中東情勢など、暗いニュースが流れているが、今年はいよいよ平和の祭典オリンピックが開催される。明るいニュースがたくさん流れますように。

(恒)

編集後記



《今月のイラスト

…寒い冬は二人マフラーで♪》